

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

三菱日立パワーシステムズ株式会社 呉工場安芸津工場

#### (2) 事業所の所在地

〒739-2403 広島県東広島市安芸津町風早3300番地

#### (3) 業種

他に分類されないはん用機械・装置製造業

#### (4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度から令和1年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

温室効果ガス排出削減のため、令和1年度のエネルギー使用量原単位を平成26年度比5%削減する。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 26 年度	平成 30 年度
二酸化炭素	8,476	3,789

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO <sub>2</sub>						0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
その他 温室効果ガス						0
温室効果ガス 実排出量総計						0
温室効果ガス みなし排出量		-				0
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

総労働時間kh

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 26 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (令和 1 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	20.143	5.0	-	-	19.136

目標設定の考え方

平成26年度比原単位5%削減目標を設定する。但し、平成30年度までは分母を換算作業時間としたが、実態と乖離があるため令和1年より分母を総労働時間に改める。従って原単位の基準値も平成26年度：147.6⇒20.143 に改訂し、令和1年の目標値：140.2⇒19.136 に改訂する。

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100      原単位(c) = (a) / (b)      原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電力使用量の削減	CO <sub>2</sub> 排出25.0 t 削減効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新工場建屋天井照明のLED化</li> <li>・コンプレッサー元圧減圧(6.0→5.5MPa)</li> <li>・メタルラズブース冬季空調設定見直し</li> <li>・デスクトップPCのノートPCへの更新</li> </ul>
2	灯油使用量の削減	灯油使用量1%相当の合理化 CO <sub>2</sub> 排出3.98 t 削減効果	1号～3号焼成炉条件統一化により合理化を図る
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー管理委員会(5回/年)の開催</li> <li>・昼休み休憩時(45分/日)消灯実施</li> <li>・クールビズ、ウォームビズへの取組み</li> </ul>

2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制

呉工場EMS組織体制に依る。

再現できません(画像)



(2) 実施状況の点検・評価

ISO14001:2015に基づくEMSによるPDCA運用管理を実施しており、原単位推移及び省エネ施策の進捗状況について、4半期毎に実績評価を行い、必要な場合、目標達成のための改善を図る。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書及び温室効果ガス使用状況報告書を公表する。

